



学藝員のススメ

第52回

博物館の学芸員が、あれこれを語り倒すコーナー。



「火の用心グッズ」の効用

大野 一郎

あつぎ郷土博物館では、企画展「火の用心・あつぎの秋葉信仰」を開催中です。展示している掛け軸、お札などの「火の用心」の史料には、さまざまな神様・仏様が登場します。その書やデザインの素晴らしさは一つの文化。火伏の神・秋葉山に代参した講の世話人が持ち帰ったお札などは、村で待つ人たちに喜ばれたことでしょう。

史料の文字を読み込むと、これらグッズは祈願だけでなく、火の用心を歌や絵で表現し注意

していたことが分かります。写真の火の用心の標語は、短歌で調子をそろえたり、頭脚を同文にして覚えやすくしたり、伝統を踏まえたもの。「火の時は目の欲に気をつけて 大事の命すてぬ 用心」など、現在でも通用するものです。

他にも、引き札や浮世絵などの展示史料から「火の用心」の文化と呼ぶべきものが見えてきます。企画展は3月3日まで。ぜひ郷土博物館に足を運んでみてください。



◀「火の用心」掛け軸
四十九居士



企画展の詳細はこちら▲